

英米文化学会会報

第48号

平成13年7月25日版



From dolphins to a whale

目次

**英米文化学会第19回大会開催のお知らせ
大会研究発表レジュメ**

事務局からのお知らせ

英米文化学会第19回大会開催のお知らせ

開催日：平成13年9月8日(土)

場 所：日本大学会館 701号会議室 (市ヶ谷駅より徒歩2分)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8

(大会会場の日本大学会館への直接のコンタクトはご遠慮ください)

当日会費：一般500円 学生300円

懇親会

時 間：18:00~20:00

場 所：日本大学会館地下1階RESTAURANT

会 費： 4,000円

大会事務局：日本大学歯学部 佐藤英語研究室

〒101-8310 千代田区神田駿河台1-18-13

電話 03-3219-8160

E-mail : shakey23@tky.3web.ne.jp

学会ホームページ : <http://www.osk.3web.ne.jp/~shakey23/indexj.html>

受付開始 9 : 0 0

挨拶 9 : 3 0 ~ 9 : 4 0 英米文化学会会長 高取 清 (文京女子大学)

研究発表 9 : 4 0 ~ 1 6 : 2 0

1 . T . S . エリオットの信仰と教会

亀岡 浩一 (立正大学)

司会者 小館 美彦 (中央大学)

2 . ヘンリー・ジェイムズの国際テーマの可能性

川口 淑子 (東京工科大学)

司会者 五味田 幸夫 (玉川大学)

3 . 『ハワイ通信』と『地中海遊覧記』の脇役の意味

佐野 潤一郎 (創価大学)

司会者 吉田 真理子 (津田塾大学)

4 . *The Cement Garden* に見られるシンボリズム

明石 美恵子 (鴨方町立鴨方中学校)

司会者 石川 郁二 (法政大学)

5 . 動詞の語形成を習得するプロセス 大学での英語教育の実践から

松谷 明美 (横浜市立大学)

司会者 平川 敦子 (城西大学)

6 . 第二言語読解における下位レベル処理能力の影響

どのような下位レベル処理能力が第二言語読解力を予測するか

松村 優子 (京都橘女子大学)

司会者 藤田 牧子 (神奈川県立中沢高校)

7 . カントリーソングの歌詞から見る情感

田中 健二 (摂南大学)

司会者 君塚 淳一 (茨城大学)

8 . ガートルード・コッパードとは誰か

ラディカル・フェミニストの『息子と恋人』批判を中心に

須田 理恵 (日本大学)

司会者 吉原 令子 (法政大学)

講演 1 6 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0

私の英語教育論

48年間の教師生活をふり返って

名和雄次郎
(拓殖大学名誉教授)

第19回大会研究発表レジュメ

1. T. S. エリオットの信仰と教会

亀岡 浩一（立正大学）

エリオットが本格的に詩の創作活動を始めたのは1915年頃である。当時のエリオットが詩作する上で心掛けていたことは、後年“ What Dante Means to Me ” で述べたように、倦怠や憂鬱といった類のものを詩の素材にすることであった。従って、頹廢的な現代人の日常生活の様子や都市の荒廃した場面が、前期の詩には多く描かれている。ところが、1927年にイギリスに帰化した頃から、この創作態度に変化が現われる。特に、一つのまとまった作品として『灰の水曜日』が発表された1930年以降になると、詩の作品世界は、主として宗教的な要素で構成されるようになる。このような創作上の変遷は、エリオットの実人生とも何らかの関連があるように思われる。そこで、エリオットにとっての信仰とはどのようなものであり、エリオットが教会といかなる関係を築こうとしたのかを考える。

2. ヘンリー・ジェームズの国際テーマの可能性

川口淑子（東京工科大学）

ヘンリー・ジェームズの代表作の一つである『鳩の翼』は、二人の主人公が存在し、二通りの物語が並列しているように見える、と議論されてきた。これを作者の不手際と見なす見方もあるものの、二人の主人公の関係が、作品に奥行きを与えているのは確かである。

D・クルックは、いわゆる国際テーマがジェームズの主要な「客観的相関物」だと評したが、確かに、『鳩の翼』の国際テーマは、国民性や文化的特色を表現するのみではない。主人公それぞれが関わるイギリスとアメリカは、一方が他方より優位にあるという単純な図式には収まりきれない微妙な関係にあり、ここでの人物関係や異文化の接触は、その一つのモデルである。今回の発表では、特に主人公二人の関係、あるいはイギリスとアメリカの関係に注目し、ポスト・コロニアリズムの視点も含め、『鳩の翼』の解釈を広げたい。

3. 『ハワイ通信』と『地中海遊覧記』の脇役の意味

佐野潤一郎（創価大学）

『地中海遊覧記』は、マ・ク・トウェイン初の旅行記として出版された作品であるが、それ以前にトウェインはハワイ諸島へ特派員として派遣され、そこから本土の新聞に紀行文を書き送っている。それが後年『ハワイ通信』として纏められたものである。いずれも旅行記であるから、作者自身が語り手として登場し、第一人称で語るのは当然としても、トウェインの述懐を引き立たせる脇役として、特定の人物名が登場する点が注目される。『ハワイ通信』や『地中海遊覧記』の草稿における「ブラウン」、そして校正を経てブラウンを削除した後の『地中海遊覧記』における五人の案内人に共通してつけられた呼び名「ファーガソン」である。彼らの存在がトウェインの深い思想性と、作品としての娯楽性という二つの対立する要素を媒介していたことを検証する。

4. *The Cement Garden* に見られるシンボリズム

明石美恵子（鴨方町立鴨方中学校）

イアン・マキュアンの処女小説 *The Cement Garden* は、思春期の子供たちが持つ混沌とした心理状況と苦悩を取り扱っている。その後の作品に見られる特徴をすでに持ちながら、後期の作品ほどあからさまではないが、シンボリズムの特質をも兼ね備えている。マキュアンはこの作品で、いくつかの事物に象徴性を持たせている。それはたとえば夢であり、匂いである。この夢と匂いは、子供たちの心理、あるいは子供たちを取り囲む環境を象徴しているのではないか。さらに、登場人物たちの不安、恐怖、その他奥底に眠る心情を強調するものでもある。このシンボリズムが、子供たちの持つ残虐性や心の逃避と密接に結びつき、それらを露わにしてこの作品の主題となり得ている。このシンボリズムに焦点を当て、また *Enduring Love* で見られる気球の持つ象徴性との共通点をも探りながら、この作品を読む。

5. 動詞の語形成を習得するプロセス 大学での英語教育の実践から

松谷 明美（横浜市立大学）

本発表は、「英語を第二言語として学ぶ大学生たちが、なぜ動詞の屈折に関する初歩的な文法上の誤りを犯すのか」という疑問に対して、生成文法の視点から解答を与えると同時に、このような文法上の誤りを減らし、母国語である日本語に加え、第二言語である英語の文法を学生に習得させるために必要な肯定証拠を、LL 装置を使用して学生に提供した結果の報告である。動詞の屈折に関する誤りの矯正を試みた授業の実践内容と、その結果として現れた屈折に関する文法上の誤りの減少過程について述べたい。

6. 第二言語読解における下位レベル処理能力の影響

どのような下位レベル処理能力が第二言語読解力を予測するか

松村優子（京都橘女子大学）

読解とは語認識等の下位レベル処理とスキーマ活用等の上位レベル処理の相互作用によって成立する、と言われているが、第二言語の読解において、下位レベル処理能力の研究はこれまであまり行われていない。しかし、Linguistic Threshold Hypothesis、あるいは Short-circuit Hypothesis によると、第二言語においてある一定レベルの言語能力がないと、第一言語で使える有効な読解ストラテジーも、第二言語の読解には活用できないとされる。そこで、本研究では、日本人大学生の英語読解テスト結果にどのような下位レベル処理要素が関係するかを検証する。研究対象の要素とは、正書法判断能力、音韻判断能力、文法判断能力、認識語彙力等である。これらと読解テスト得点との相関関係を調べる。さらにこれらの要素を説明変数に、読解テスト得点を従属変数にして重回帰分析を試み、どの要素が読解能力をよく予測するかを実証する。

7. カントリーソングの歌詞から見る情感

田中健二（摂南大学）

全米には 2,500 のカントリー専門ラジオ局があり、毎週 7 千万人のアメリカ人がラジオでカントリーソングを聞く。また CD は年間約 2,500 億円の売り上げを記録している。本研究では、それらカントリーソングの歌詞が訴えたい情感は何か、を歌詞の収集・分析を通じて探りたい。本研究のためコンピューターに 300 曲の歌詞を入力し検索作業をおこない、数値を示しながら形容詞や動詞の使用実態も明らかにする。情感は歌詞だけでなくカントリーソングの旋律そのものにも大きく作用されるが、本研究では専ら歌詞を扱うこととする。

8. ガートルード・コッパアドとは誰か

ラディカル・フェミニストの『息子と恋人』批判を中心に

須田理恵（日本大学）

『息子と恋人』は最初『ポール・モレル』と名付けられ、著者の D.H.ロレンスはこれを自伝と称したことは周知である。だが『ポール・モレル』が実母をモデルとした『マチルド』という未完の小説から発生したことはあまり知られていない。このような小説の変遷の裏には大きな時代のうねりに翻弄された作者ロレンスの複雑な心境を垣間見ることができるのである。ガートルード・コッパアドという記述はたった一度しかされていないことをケイト・ミレットは指摘したが、それは小説の発端の名残とも言える。モレル夫人のギルドへの参加の描写の例にあるように、『息子と恋人』執筆時には意図しなかった「母」や「モレル夫人」としてではない一人の孤独な炭鉱労働者の妻としてのガートルード・コッパアドの素顔を作品の中で考察し、論ずる。

出版特別企画委員会からのお知らせ

多くの会員の皆様からのご賛同をいただき、昨年 9 月発足いたしました出版特別企画は、

下記の6グループの成立を観ることができ、その具体的活動へと始動しはじめました。

グループ名と代表者

シェイクスピア (宮本正和)
アメリカ文化 (君塚淳一)
イギリス文化・文学 (相良英明)
インターネット (内田 均)
英語教育 (亀山 孝、木村みどり)
動物と文化 (田邊治子)

今後の活動のすすめ方につきましては、検討の結果、下記のようにお願いすることになりました。

1. 出版準備の整ったグループから、随時、理事会との話しあいに入っていただきます。
2. 理事会との話しあいは各グループ代表者をとおして行うこととなります。
3. 詳細につきましては、各グループ代表者をご相談ください。

以上、出版特別企画委員会からの最終経過報告です。企画の更なる発展を期待して、これで委員会の任務をすべて終わらせていただきます。皆様のご協力ほんとうにありがとうございました。

出版特別企画委員一同

事務局からのお知らせ

『現代アメリカ小説 II』が刊行

分科会にて鋭意翻訳作業が続いておりました、マルカム・ブラッドベリの『現代アメリカ小説 II』は、翻訳が終了して、前回と同じ彩流社から出版されました。これで The Modern American Novels はすべて翻訳が終わりました。先般会員には配布済ですが、お手元に届いていない会員は恐縮ですが、事務局までご連絡をください。

書誌事項 マルカム・ブラッドベリ著 英米文化学会編訳 『現代アメリカ小説 II--1890 から 1945 まで』2001/5/31 刊行 彩流社 2200 円(税別)

事務局への連絡先一部変更

事務局担当の佐藤治夫理事の連絡用電話が一部変更となりました。携帯電話ではなく PHS 番号 070-5016-3394 です。携帯番号はすでに解約済みですのでご注意ください。また、研究室直通のファックス(03-3219-8333)は使用しておりません。新しいファックス番号は 03-5204-8787 となっています。電話は直通留守番電話 03-3219-8160 が変わらず使用できます。このような全てがスピードアップの時代となりましたので、留守番電話に連絡先を入れていただいて、事務局担当の方から連絡をするのは失礼とは思いませんし、留守番電話では失礼なので一旦切って再度かけなおしても、1 件分の音声の入っていない部分を 30 秒ほど聞くこととなりますので、能率が悪いのです。お気兼ねなく用件を仰っていただいたほうが能率的だと思います。一月に 20 件ほどつまり合計 10 分ほど無音の録音シーケンスを聞く方が非能率ですのでご高配いただけると幸いです。

メールアドレス重複登録の件

現在電子メールでの連絡には、ご連絡を頂いているメールアドレスすべてにメールを送るようにしております。一人の方に 2 通、3 通と届いていて、不要部分があればご連絡をください。重複分を削除いたします。かなり多数の会員が重複メールアドレスにて連絡を受けていて、どれかにまとめて転送などしている場合は、さらに多くのメールを受けることとなりますのでご遠慮なく連絡をください。

住所などの変更

昨今は、転居などの事情で連絡先が変わっていてもご連絡をいただけないケースが増加しております。会費納入時に記入していただく振込票の住所が異なっているのに当方にて気づいた場合は変更と解釈できますが、念のため渉外担当理事までご連絡を入れてください。なお、学会では、必ず年間4回の会報と『英米文化』の送付で最低年間5回は会員に郵便物をお送りしておりますので、郵便物が届かず、ハッと気づかれた時はご連絡ください。

会員の動き

一部省略

渉外からのお知らせ

住所変更などは直接「渉外担当」吉田までご連絡ください。

T/F0426-75-9813 tyoshida@cc.teu.ac.jp

財務からのお知らせ

前回の会報に学会費の金額が記載されておりました。年会費は5,000円です。

英米文化学会会報 第48号	編集/発行: 英米文化学会
	編集責任者: 石山伊佐夫(広報担当)
	〒224-0028 横浜市都筑区大瀬西3-3-1001 045-592-6570
年会費等振込先: 郵便振替 加入者名 英米文化学会 口座番号 00160-7-611777	
問い合わせ先 英米文化学会事務局 佐藤治夫 03-3219-8160 ファックス 03-5204-8787	
	E-mail: shakey23@tky.3web.ne.jp 学会ホームページ
	http://www.osk.3web.ne.jp/~shakey23/indexj.html